

鶴岡工業高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)		授業科目	保健・体育Ⅲ	
科目基礎情報							
科目番号	0037			科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	創造工学科 (機械コース)			対象学年	3		
開設期	通年			週時間数	2		
教科書/教材	Activesports						
担当教員	松橋 将太						
到達目標							
1. 挨拶、場面の切り替えにおいて、規律ある行動を表現する。(礼儀・礼節) 2. 自分本位な感情や行動を取らずに、チームワークを意識した配慮が取れる。(協力・協調) 3. 何事にもチャレンジし、諦めない心を育む。(挑戦・向上心)							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安(優)		標準的な到達レベルの目安(良)		未到達レベルの目安(不可)	
態度・志向性		開始、終了時の整列時にメリハリを持って整列、挨拶ができ、授業中一貫して雰囲気向上、自己パフォーマンス発揮に勤しむ事ができる。		整列時に集団行動は図れるが、挨拶が不十分であったり、一貫した雰囲気向上、自己パフォーマンス発揮の発現が乏しい。		整列時のメリハリ、挨拶も不十分であり、雰囲気や自己パフォーマンス向上に誠意が見られない。	
協力・協調		種目に応じて、チームやペアでの関係性を尊重して、前向きな行動が図れる。		種目に応じて、チームやペアでの関係性を尊重し、他者へのサポート的配慮がみられる。		自分勝手な行動が散見される。または、協力的な行動、発言が見られない。	
意欲・挑戦		種目に必要な技術を見出し、明るくチャレンジができる。また、周囲へのアドバイスなどの協力がみられる。		意欲的なチャレンジではないが、しっかりと取り組めている。		意欲的に取り組めない、周囲との共同ができない。	
学科の到達目標項目との関係							
(B) 幅広い教養と技術者・研究者としての倫理を身につける。							
教育方法等							
概要	各種目を通じて基本的な技術を習得し、ゲームで活かすことができる。集団内における自身の役割と責任を自覚し、他者と協力して各種目を実行できる。他者とのより良い関係性の構築や自己の生活環境の向上に取り組むことができる。						
授業の進め方・方法	適時種目内容に応じて適切な施設、用具、服装を使用して、毎時間の目標に沿った形で進めることとする。						
注意点	・学校指定のジャージを着用する(クラスTシャツは可) ・授業に関係のない電子機器(スマホ等)の使用は大幅な減点となる。 ・外で使用したシューズの屋内使用は大幅な減点となる。						
事前・事後学習、オフィスアワー							
9:00-17:00は第2体育館教官室にて対応。 尚、課外活動時間のテーピング、怪我等の手当ては対応可能。							
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	校内体育大会練習 1		・各種目のルールを守り、安全な環境設営ができる。		
		2週	校内体育大会練習 2		・仲間と協力して行動できる。		
		3週	校内体育大会練習 3		・実戦に向けた基本的技術習得のための練習を実践できる。		
		4週	校内体育大会練習 4		・基本技能を活かし、楽しく意欲的に競技することができる。		
		5週	校内体育大会練習 5		・自己の能力に応じ、楽しみながらゲームに参加できる。		
		6週	校内体育大会練習6		・大会本番に向けてクラスメイトへの支援ができる。		
		7週	体力測定 1		・自己の筋力、柔軟性、持久力、瞬発力などをわかる。		
		8週	体力測定 2		・測定に対して、自己の現状把握に向けて一生懸命に取り組める。		
	2ndQ	9週	ソフトボール 1		・キャッチボール、バッティングを意図的に出来る。		
		10週	ソフトボール 2		・守備練習(ノック形式)の中でチームで連携して取り組める。		
		11週	ソフトボール 3		・試合：レフトポール、ライトポールで試合を実施		
		12週	バレーボール 1		・サーブ、レシーブ、トス、スパイクの基本動作ができる。		
		13週	バレーボール 2		・ゲーム内で味方と連携し 3 段攻撃を実施できる。		
		14週	バレーボール 3		・ローテーションを理解し、ゲームで発揮できる。		
		15週	バレーボール 4		・試合：Aコート、Bコートで 2 試合同時実施		
		16週	バレーボール 5		・勝敗に関わらず、相手を称えることができる。		
後期	3rdQ	1週	アルティメット 1 or ソフトボール 4		実施場所：サッカー・ラグビー場(ニュースポーツの一環として実施)		
		2週	アルティメット 2 or ソフトボール 4		実施形態： 6 チーム編成。みんなで共に上達、楽しむ素養を養う		

		3週	アルティメット 3 or ソフトボール 4	試合：男女混合での実施、屋外・屋内両方でのパターンを体験する
		4週	アルティメット 4 or ソフトボール 4	・勝敗に関わらず、相手を称えることができる。
		5週	バスケットボール 1	・パス、ドリブル、シュートの基本的技術ができる。
		6週	バスケットボール 2	・適切な（レイアップ&ミドル）シュートフォームができる。
		7週	バスケットボール 3	・スクリーン、ポストプレーなどの専門的技術に積極的に取り組める。
		8週	バスケットボール 4	・チーム内で戦術や役割を考えて、試合に挑める。
	4thQ	9週	バスケットボール 5	・試合：フルコート（Aコート、Bコート 2 箇所）
		10週	卓球・バレー・バドミントン 1（交代制）	・サーブ、フォア、バックハンドの基本的動作ができる。
		11週	卓球・バレー・バドミントン 2（交代制）	・基本技能を通じた各種ラリーを一定回数以上行うことができる。
		12週	卓球・バレー・バドミントン 3（交代制）	・ゲームを通じて、勝つための戦術を考えて、実践できる。
		13週	卓球・バレー・バドミントン 4（交代制）	・種目の切り替わりに適応した行動が取れる。
		14週	選択種目（3 種目）	次年度校内体育大会の種目選択とする
		15週	選択種目（3 種目）	次年度校内体育大会の種目選択とする
		16週	選択種目（3 種目）	次年度校内体育大会の種目選択とする

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合					
	授業態度	チームワーク	技術習得	その他	合計
総合評価割合	30	40	30	0	100
態度・志向性	30	0	0	0	30
協力・協調	0	40	0	0	40
意欲・挑戦	0	0	30	0	30